

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	アジュール若草
------	---------

公表日 2026年 2月 27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		*適正(事業所設立登録における) *年齢(学年)に応じて部屋を分けたり過ごせるようにしている。	お子さまの活動スペース(指導訓練室)は、1階・2階とで41.3㎡あります。規定では1人当たり2.47㎡必要で10人・25㎡となり、限られた部屋等ですが基準は満たしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			職員配置基準は常時、児童発達管理責任者1名と児童指導員2名(10名まで)ですが、児童指導員を3名体制としています。したがってスペースのキャパを含め変則時は15名までは受け入れ可能としております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		*玄関/扉/洗面/トイレ等、案内表示や動作絵貼り。 *防災カーペット、バリアフリー室内、柱・机角等にウレタンスポンジ等、歩行出来ない児童にも配慮。	*経年変化による点検と交換を継続。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	改善点あり	*毎日清掃(トイレや洗面所、玄関等)と安全点検(ウレタンスポンジが捲れていないか等)。 *室内でもスペースをつくって様々な活動。それ以上は最寄りの公園数か所を利用。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	*一部整備中 *2階の部屋が使える。	*こどもが遠慮せず使える環境を継続して提供すること。 *こどもたちへの気配り・声掛けを行う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	強化すべき点あり。	不都合があった場合、皆で都度ミーティング等を実施しているが、職員の資質的な問題を指導し、さらに均一なサービス品質の向上に努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			HP等にて公表していますが、今回はさらに利用者さまに結果を配布します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			全職員同士の意見交換と取りまとめができている為、引き続き継続を行うこと。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			都度改善しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	*各庁及び県・市からの情報の共有と職員への落とし込み等。 *出来るだけ研修受講や参加研修などを推	昨年も本年も出来る限り各職員に順次講習・研修に参加するようにしている。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			HP、入所時の説明、パンフレット等実施しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			研修で再アセスメントの重要性を理解し、運用しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			改善の余地があるとおもいますが、現状実施しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		情報を共有しているが、支援計画で具体的に反映させることはまだ認識面での改善が必要と考えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	固定にならないようにしている。	

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			・季節や行事を踏まえ年間活動計画を職員皆で立案。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		季節や行事を踏まえ年間活動計画を立案しているが、費用がかからない要望や、子どもが安全で楽しんでもできるような活動が求められるが、どうしても限定的なプログラムになるので改善中。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			これでよいということはないですが、常に改善・作成し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		活動では細部にわたり出ていない面もあり、今後反省し改善としたい。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	7			実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			実施しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			実施しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			参画できるようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		一応の体制は整えていますが、弱い部分もあり連携の強化を図りたい。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		学校との連絡・情報共有は日常実施しているが情報収集等についてはまだ不足があり改善が必要とかがえています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	事例少ない。	自発普及び管理者としては入所時等に情報については共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7				支援センターとは常に情報の共有しています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7				町内会や学校、社協のこどもイベントには参加・交流できた。今後さらに参加したい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				十分ではないが理解・認識が出来ていると考えます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2			見学等は実施していますが家族支援プログラムについては実施しておらず、改善。企画しています。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				実施しています。	
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				実施しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			実施しています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			十分ではない面もありますが、出来ていると考えます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	個人情報もあるので行っていない。	開催についてのお声がけもしている希望者が少ないこともあり、とりあえず参加できる方を対象に企画・実施をしたいと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			相談やもし入れ、苦情等については速やかに対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			適時、発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			保管・取り扱いには十分留意し、職員の研修も適時実施しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			特徴のある行動を理解することや、伝えるために見えるかするなど工夫をしている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		見学等は実施できているが、まだ招待するような行事を実施していないので企画したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			各マニュアルを作成し、それぞれ、2回/年の全員での訓練、職員研修を実施しています。先般災害防止マニュアルの一部を配布しましたが、保護者さまへはさらに周知いたします。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			・BCP対策をたて、訓練は実行しています、装備には費用もかかるため適時充実させたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			確認をしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			対応しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		・各ご家族様との連携が図れているため継続をします。また周知の徹底をはかります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			活動等の前後にKYTを実施し終了後のヒヤリハットについても実施しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			定期的に職員研修を実施し、防犯カメラ等の設置し対応しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			定期的に職員研修を実施で周知し、めったにないが安全上必要と思われるときなどは事前に保護者へも説明・承諾する。	